



圧巻の演技！年長の発表会

11月の年中の発表会に続き、12月10日(土)には、年長の発表会を開催しました。相変わらず、新型コロナウイルスの新規感染者数(福岡)が増加傾向にありましたが、無事に開催することができ、ホッとしています。また、当日は、どのクラスも欠席者が“0”で、全員揃って発表会に臨むことができました。

年長発表会の“ねらい”は、①「自信をもって自分の役を演じる事」、②「皆で一つの物語をつくり、出来上がった達成感を皆で味わう」ことの二つを掲げていました。

5日(月)と6日(火)にリハーサルを行いました。その時には、声が小さくて聞こえにくいことがありました。しかし、当日は、大きな声で自信をもって堂々と言うことができおり、①のねらいは達成できていました。2~3日で修正してきたことには、さすが年長の子もたちだと感じました。また、劇の発表が終わり、遊戯室から出てきた子どもの表情には、やり遂げた満足感、達成感が漂っており、②のねらいも達成できたと思われました。どのクラスも、見ごたえのある発表でした。

◆ゆり組「どろぼうがっこう ぜんいんだつごく」

「どろぼうがっこう」と「どろぼうがっこう～ぜんいんだつごく～」の2冊の絵本を構成しての発表でした。どろぼう学校のくまさか先生と



生徒、警察官のやりとりなどを工夫しながら、「楽しい、面白い話」になるように演じていました。

「どろぼうがっこう～ぜんいんだつごく～」と一緒に発売されたのが、「どろぼうがっこう～だいうんどうかい～」だそうです。泥棒学校の大運動会…どんな競技が繰り広げられるのか、読んでみたくありませんか？

◆さくら組「まほうつかいの ノアばあさん」

呪文を唱えるとスパゲッティが出てくる魔法の窯を持っている魔法使いのノアばあさん。お手伝いに雇ったアンソニーが魔法の呪文を唱えて…街中がスパゲッティだらけになるという劇を作りました。劇中の魔法の歌と鉄琴の響きが耳に残っています。また、ノアばあさんやアンソニー、街の人などの配役を子どもたちが入れ替って演じていましたが、入れ替ったことが分からないほど話の内容

を理解し、登場人物の気持ちを全員でつないで劇を発表していたので、子どもの交代に違和感なく見る事ができたのだと思いました。感心しました。



◆うめ組「金のがちょう」

心優しい少年「ぬけ作」が抱えた「金のがちょう」に、7人が次々とくっついてちやうどタバタ劇。



最終的には、「ぬけ

作」が姫と結婚するというハッピーエンドの話を見事に演じていました。最後に、「人に親切にすると良いことが起こかも…」と結んでいましたが、私も、「そうありたいな」と思いました。

この話は、グリム童話に収められている約250編のうちの一つです。グリム童話の他の作品や、アンデルセン童話やイソップ童話など読み広げてみてはいかがでしょうか？

ジャガイモの大収穫

年中が栽培していたジャガイモを収穫。大きな芋が入った子、数多く収穫できた子など、それぞれに違いはありましたが、たくさんのジャガイモを収穫し、お家に持ち帰りました。



これは、ジャガイモへのお世話が行き届いた結果だと思えます。さてさて、持ち帰ったジャガイモを使って、どんな料理となったのかな？

大根葉の味噌汁～年少～

年少が水耕栽培していた大根の葉を使って、味噌汁をつくり、弁当と一緒に、みんなで食べていました。自分たちがお世話をして育てたものを喜んで口にしている姿がありました。大根葉は、鉄分やビタミン類など美容や健康に嬉しい栄養成分が豊富に含まれているとのことだそうです。



※2学期は、各種行事を始め、ピカピカ大作戦、花植え等のご支援、ご協力に感謝しています。